

令和 5 年度

医療倫理学分野 年報

(2023.4 ~ 2024.3)

2024 年 3 月

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻
医療倫理学分野

目 次

1. 研究業績	1
(1) 原著	
(2) 総説・一般	
(3) 著書	
(4) 報告書	
(5) 学会・研究会等	
2. 研究活動	11
(1) 研究会	
I. 教室全体の研究会	
(2) 研究プロジェクト	
3. 教育活動	14
(1) 学部講義	
(2) 学部実習・演習	
(3) 大学院講義	
(4) 卒業論文	
(5) 課題研究	
(6) 博士論文	
(7) 他大学等の講義	
(8) 講演等	
4. 海外出張	24
5. 学会における活動	25
6. 社会的活動	26

教室員名簿

1. 研究業績

(1) 原著

Arai N, Yokoyama N, Hara M, Takimoto Y. Perceptions of psychosocial and ethical issues and the psychological characteristics of donors in the clinical setting of living kidney donors: A qualitative study. *AJOB Empir Bioeth*. 2024; 15(1):22–32. doi: 10.1080/23294515.2023.2232776. [peer reviewed]

Ibuki T, Ibuki A, Nakazawa E. Possibilities and ethical issues of entrusting nursing tasks to robots and artificial intelligence. *Nursing Ethics*. 2023 Online First. doi: 10.1177/09697330221149094. [peer reviewed]

Maeda S, Kamishiraki E, Murata M, Ishikawa E, Nakazawa E, Akabayashi A. Healthcare ethics education for students: A survey of medical and nursing schools in Japan. *Journal of Patient Safety & Conflict Management*. 2023; 15:20–27. [peer reviewed]

Nagao N., Takimoto Y. Clinical ethics consultation in Japan: What does it mean to have a functioning ethics consultation? *Asian Bioeth Rev*. 2024; 16:15–31. doi: 10.1007/s41649-023-00257-2. [peer reviewed]

Nakazawa E, Shaw MH, Akabayashi A. The ethical acceptability of a recipient's choice of donor in directed and non-directed transplantation: Japanese perspective. *Camb Q Healthc Ethics*. 2023; 32(2):216–221. doi: 10.1017/S0963180122000214. [peer reviewed]

Qian Y, Takimoto Y, Wang L, Yasumura A. Exploring cultural and gender differences in moral judgment: A cross-cultural study based on the CNI model. *Curr Psychol*. May 2023. doi: 10.1007/s12144-023-04662-6. [peer reviewed]

Sato H, Takimoto Y. Clinical ethics problems in psychiatry and the need for clinical ethics consultation in Japan: A cross-sectional study. *PCN Rep*. 2023; 2:e86. doi: 10.1002/pcn5.86. [peer reviewed]

Tachibana K, Nakazawa E The consciousness of virtue: uncovering the gaps between educational specialists and the general public in their understanding of virtue in Japan. *Front Psychol.* 2024; 14:1171247. doi: 10.3389/fpsyg.2023.1171247. [peer reviewed]

Takimoto Y, Yasumura A. Verification of the Japanese version of Greene’s moral dilemma task’s validity and reliability. *Psych.* 2023; 5(1):224–233. doi: 10.3390/psych5010017. [peer reviewed]

Takimoto Y. Should physicians be permitted to refuse follow-up care to patients who have received an organ transplant through organ trafficking? *Transpl Int.* 2023; 36:11529. doi: 10.3389/ti.2023.11529. [peer reviewed]

Toda S, Nakazawa E. Determinism and social paradoxes of explainable artificial intelligence (XAI). *CBEL Report.* 2023; 5(2):47–58. [peer reviewed]

Udagawa M, Nakazawa E, Akabayashi A. Courses of study for the high-school subject “The Public” and its authorized textbooks. *Journal of Seizon and Life Sciences.* 2023; 33(2):119–136. [peer reviewed]

Watanabe E, Lee JS, Ichinohe S, Nakazawa E. Literature review on health disparities and social capital in Japan. *CBEL Report.* 2023; 5(2):26–46. [peer reviewed]

中澤栄輔. 防犯・防災・防疫などシステム構築の際に考慮すべき倫理的課題—公衆衛生倫理の方法論. *日本健康学会誌* 2023; 89(3):78–82.

(2) 総説・一般

Akabayashi A, Nakazawa E. [Letter] What is the contemporary role of second-generation philosophical bioethicists? *Indian J Med Ethics*. 2023 Jul-Sep;VIII(3):252–253. doi: 10.20529/IJME.2022.069.

伊吹友秀, 高島響子, 中澤栄輔. 東京大学医療倫理学分野 20 年史. *CBEL Report*. 2023; 5(2):18–25.

中澤栄輔. ChatGPT の生命・医療倫理—「予防原則」と「使わないリスク」. *医事業務* 2023; 656(2023.10.15):14–16.

(3) 著書

Pandemic Ethics: From COVID-19 to Disease X (online edn, Oxford Academic),
<https://doi.org/10.1093/oso/9780192871688.001.0001>

Julian Savulescu (ed.), Dominic Wilkinson (ed.)

Oxford University Press, April 2023.

pp. 337–356: Nakazawa E, Akabayashi A. Chapter 16. Fair distribution of burdens and vulnerable groups with physical distancing during a pandemic.

Research Developments in Medicine and Medical Science. Vol. 3.

Darko Nozic (ed.)

B P International, March 2023.

分担執筆：pp. 33–53. Takahashi S, Nakazawa E, Ichinohe S, Akabayashi Ar, Akabayashi Ak. 2023.

Wearable technology for monitoring respiratory rate and SpO2 of COVID-19 patients.

doi: 10.9734/bpi/rdmms/v3/18568D.

Current Innovations in Disease and Health Research, Vol. 2.

Ashraf Talaat Youssef (ed.)

B P International, July 2023.

分担執筆：pp. 42–54. Akabayashi A, Nakazawa E. What does it mean to truly empathize with a

Patient? An analysis of Japanese cases employing the narrative approach perspective.

doi: 10.9734/bpi/cidhr/v2/19446D.

人工知能とどう付き合うか—哲学から考える

鈴木貴之（編著）

勁草書房 2023.

分担執筆：pp. 95–113. 中澤栄輔. 第5章 医療 AI の倫理—倫理的な判断を AI が担う、未来の患者・家族・医療従事者関係.

(4) 報告書

(該当なし)

(5) 学会・研究会等

○近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2023 (大阪府大阪市) 2023 年 4 月 13 日～15 日

- ・ 楽しんで論文を書くために — 倫理の視点 (Co-medical Theater I「さあ、みんな、論文を書こう!!」)

中澤 栄輔.

○日本医療情報学会緊急シンポジウム「ChatGPT は医療情報研究と医療を変えるか?」 (東京都千代田区) 2023 年 5 月 19 日

- ・ ChatGPT の生命・医療倫理

中澤 栄輔.

○Artificial Intelligence and Ethics: Medicine, Education, and Human Virtues. (Chiba, Japan) 26 May 2023.

- ・ Ethical issues regarding the application of AI to the healthcare setting: Mental disorders research.

Nakazawa E.

○APBEN Congress 2023 (Manila, Philippines) 31 May–3 June 2023.

- ・ Curriculum and methods of social justice education through COVID-19: The case of the University of Tokyo.

Nakazawa E, Ozeki-Hayashi R.

○日本皮膚科学会総会 (神奈川県横浜市) 2023 年 6 月 1 日～4 日

- ・ 臨床倫理コンサルテーションの現状 (教育講演 14「臨床と研究における倫理を考える」)

瀧本 禎之.

○第 119 回日本精神神経学会学術総会（神奈川県横浜市）2023 年 6 月 22 日～24 日

- ・ ワークショップ 5「リエゾン精神科医が直面する臨床倫理的課題－生命に関わる身体疾患への治療を拒否する患者へのアプローチ」

瀧本 禎之.

- ・ 着床前遺伝学的検査をめぐる昨今の倫理的論点（委員会シンポジウム 8「着床前遺伝学的検査をめぐる倫理的課題－精神医学の観点から」）

稲生 宏泰.

○ 第 64 回日本心身医学会総会（神奈川県横浜市）2023 年 7 月 1 日～2 日

- ・ 摂食障害診療における臨床倫理的問題（シンポジウム「摂食障害の臨床倫理を考える」）

瀧本 禎之.

- ・ 心身医学講習会「病院・臨床倫理委員会の過去と現在」

瀧本 禎之.

○ Kyoto Conference 2023: Bridging Science and Ethics (Kyoto, Japan). 16–17 September 2023.

- ・ Conceptual Evolution of Research Misconduct: Overcoming the Integrity's Irrelevance Through the Localization of Attribution.

Miwa E.

○ 第 6 回病院・臨床倫理委員会連携会議（オンライン）2023 年 9 月 26 日

- ・ 生命・医療倫理学における自律性の概念

中澤 栄輔.

○ 令和 5 年度 脳とこころの研究推進プログラム「精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト」
分科会（東京都品川区）2023 年 9 月 27 日

- ・ 国際的な動向をふまえた『脳神経科学をめぐる倫理ガイド』の作成、および『脳科学研究者と市民の協働・対話』の試み

瀧本 禎之，吉田 修馬，宇田川 誠.

○ 2023 年度 第 3 回 AI プロジェクト研究会合（オンライン）2023 年 9 月 30 日

- ・ ロボットや AI に看護業務を委託することの可能性と倫理的課題についてーロボット倫理と看護倫理の交わるところ

伊吹 友秀，伊吹 愛，中澤 栄輔.

○ 第 36 回日本サイコオンコロジー学会（奈良県奈良市）2023 年 10 月 6 日～7 日

- ・ パネルディスカッション 2「困難事例の倫理カンファレンス～医療者間のコンフリクトをどう乗り越えるか～」

瀧本 禎之.

○ The Uehiro-Oxford-Melbourne-Japan Conference Controversies in Applied Ethics (Tokyo, Japan) 14 October 2023.

- ・ AI and Public Health Ethics

Nakazawa E.

○ 日本災害情報学会第 27 回学会大会（福島県福島市）2023 年 10 月 27 日～29 日

- ・ 災害医療体制に関するコミュニケーションの現状と課題

石橋 真帆，三羽 恵梨子，坂井 愛理，島田 裕平，関谷 直也，畠尾 淳.

○ 哲学会第六十二回研究発表大会（東京都文京区）2023 年 10 月 28 日～29 日

- ・ COVID-19 パンデミックを契機とする医学的無益性概念の再考（ワークショップ「パンデミックと哲学—生と医療、そして死—」）

中澤 栄輔.

○ 日本生命倫理学会第 35 回大会（東京都港区）2023 年 12 月 9 日～10 日

- ・ ニューロテクノロジーの動向と ELSI（公募ワークショップ「神経科学がもたらす「新しい価値と権利」の可能性」）

中澤 栄輔.

○ PeSeTo Seminar 2023 in Tokyo “Public health practice, policy, and research in the post-corona era in East Asia” (Tokyo, Japan) 16 December 2023.

- ・ Public health ethics in the post pandemic era.

Nakazawa E.

○ 新潟マシン・エシックスセミナー（新潟県新潟市）2024 年 1 月 17 日

- ・ ロボット倫理と看護倫理の交わるところ

伊吹 友秀, 伊吹 愛, 中澤 栄輔.

○ 2023 年度 全国公正研究推進会議（東京都文京区）2024 年 2 月 16 日

- ・ 研究室自動化の Integrity 強化への影響と課題

三羽 恵梨子.

○ 第 29 回日本災害医学会総会・学術集会（京都府京都市）2024 年 2 月 22 日～24 日

- ・ 災害医療トリアージの ELSI 研究の試み

三羽 恵梨子.

- ・ 災害時の資源配分を語る言葉：「最大多数の最善」をより豊かにするために（パネルディスカッション 35「市民社会とトリアージー今後の人文社会学的議論に向けた論点整理ー」）

三羽 恵梨子.

2. 研究活動

(1) 研究会

I. 教室全体の研究会

4月 26日(水)	池田 亘孝 (M4)	エレクラ成果報告：認知的完結欲求の観点から見たコロナワクチン関連の陰謀論の分析
8月 23日(水)	三羽 恵梨子	学会発表予定
1月 31日(水)	岩元 勇都 (M1)	FQ 成果報告：災害報道による心の傷つきとその回復の困難さ・可能性
	玉井 凜 (M1)	FQ 成果報告：生まれた子どもは「損害」なのか
	飯島 大地	卒論発表会予定

(2) 研究プロジェクト（助成分）

日本医療研究開発機構・脳とこころの研究推進プログラム（精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト）『脳科学研究の社会実装および倫理的課題の探索のための知的ネットワークの構築』

研究代表者：瀧本 禎之.

研究開発分担者：安村 明, 永石 尚也, 吉田 修馬.

研究協力者：宇田川 誠, 栗林 寛幸, 和田 慈, 筒井 晴香, 銭 雅純, 矢野 幸治,
小久保 智淳, 村瀬 泰菜, 鶴田 想人, 岡本 江里菜, 玉手 慎太郎.

科学技術振興機構 RISTEX・科学技術の ELSI への包括的実践プログラム（RIInCA）プロジェクト『ヒト脳改変の未来に向けた実験倫理的 ELSI 研究方法論の開発』

研究代表者：太田 紘史.

研究分担者：中澤 栄輔, 宇田川 誠, 森 克美.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)『臨床倫理的問題の判断メカニズムの解明および倫理理論構築と新アプローチ法の確立』

研究代表者：瀧本 禎之.

研究分担者：安村 明, 永石 尚也, 吉田 修馬, 島内 明.

日本証券奨学財団 2022 年度研究調査助成『感染症パンデミックにおけるマルチレベルな医療資源配分モデル構築』

研究代表者：中澤 栄輔.

三井住友海上福祉財団 2022 年度研究助成『高齢者福祉政策の基盤としての老年哲学の混合研究方法による再検討』

研究代表者：中澤 栄輔.

公益財団法人 生存科学研究所 自主研究会事業 若手研究者部門『介入可能かつ有効なメンタルヘルス政策の社会的決定要因のデータに基づく構築』

研究代表者： 稲生 宏泰.

研究分担者： 稲生 宏泰, 赤林 朗, 前田 正一, 中澤 栄輔.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)『健康危機における資源配分および保健医療・福祉サービス水準の調整に関する研究』

研究代表者： 冨尾 淳.

研究分担者： 中澤 栄輔.

ファイザーヘルスリサーチ振興財団 第 32 回 ヘルスリサーチ研究に関する研究助成『災害時トリアージに対する専門家-市民間の理解の乖離についての分析』

研究代表者： 島田 裕平.

研究分担者： 三羽 恵梨子, 石橋 真帆, 坂井 愛理.

3. 教育活動

(1) 学部講義

○ 生命・医療倫理 I (健康総合科学科 2 年)

瀧本 禎之, 中澤 栄輔, 宇田川 誠

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、医療倫理学の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

本講義は、将来に臨床や医療政策に携わる人にとって有益であるのはもちろんだが、それ以外の人にとっても、いろいろな立場の人との議論を通じて、自分の倫理的思考を見つめ直すよい機会となる。

12 月 1 日	ガイダンス／倫理の基礎／SGD	宇田川 誠
12 月 8 日	倫理理論／医療倫理の四原則／SGD	宇田川 誠
12 月 15 日	研究倫理／SGD	宇田川 誠
12 月 22 日	公衆衛生倫理／SGD	宇田川 誠
1 月 5 日	学生による発表とディスカッション (1)	宇田川 誠
1 月 19 日	学生による発表とディスカッション (2)	宇田川 誠
1 月 26 日	学生による発表とディスカッション (3)	宇田川 誠

○ 生命・医療倫理 II (健康総合科学科 3 年)

瀧本 禎之, 中澤 栄輔, 宇田川 誠

この授業では、主に医学研究の実施に際して生じる倫理的問題を検討する。授業では、研究倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションや、資料を用いた演習も行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

10 月 9 日	中澤 栄輔
10 月 16 日	中澤 栄輔
10 月 23 日	中澤 栄輔
10 月 30 日	中澤 栄輔

11 月 1 日	中澤 栄輔
11 月 6 日	中澤 栄輔
11 月 13 日	中澤 栄輔

○ 健康行動の理論と科学（健康総合科学科 4 年）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

本講義では、健康行動の理論と科学と称し、主に肥満、タバコ、飲酒を例にとり、科学的側面および公衆衛生的側面から検討する。授業では、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6 月 5 日	イントロダクション	中澤 栄輔
6 月 12 日		中澤 栄輔
6 月 19 日		中澤 栄輔
6 月 26 日	発表（1）	中澤 栄輔
7 月 3 日	発表（2）	中澤 栄輔
7 月 10 日	発表（3）	中澤 栄輔
7 月 24 日	発表（4）	中澤 栄輔

○ 公衆衛生倫理（健康総合科学科 4 年）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

本講義では、公衆衛生に関する問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、公衆衛生倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6 月 7 日	公衆衛生倫理概要	中澤 栄輔
6 月 14 日	公衆衛生倫理演習 1	中澤 栄輔
6 月 21 日	公衆衛生倫理演習 2	中澤 栄輔
6 月 28 日	公衆衛生倫理演習 3	中澤 栄輔
7 月 5 日	公衆衛生倫理演習 4	中澤 栄輔
7 月 12 日	公衆衛生倫理演習 5	中澤 栄輔
7 月 19 日	まとめ	中澤 栄輔

○ 臨床倫理（健康総合科学科 4 年）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、臨床倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

11 月 29 日	臨床倫理の基礎：臨床倫理推論	瀧本 禎之
12 月 6 日	精神疾患と倫理	佐藤 弘之（上尾の森診療所）
12 月 13 日	救急医療と論理	今長谷 尚史（自治医科大学）
12 月 20 日	移植医療と倫理	新井 奈々（医学部附属病院）
12 月 20 日	終末期医療と倫理	瀧本 禎之
1 月 12 日	臨床倫理のシステム： 倫理コンサルテーション	瀧本 禎之

○ 公共健康科学統合講義 II（健康総合科学科 3 年）

4 月 27 日	公衆衛生倫理学	中澤 栄輔
----------	---------	-------

○ 健康総合科学概論（健康総合科学科 3 年）

11 月 20 日	生命・医療倫理学入門	中澤 栄輔
-----------	------------	-------

○ 医療倫理（医学科 M2）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

臨床における倫理的問題、および医学研究における倫理的問題について、医療倫理の成立過程や基礎理論を踏まえた講義を行う。

6 月 21 日	第 1 回	イントロダクション
----------	-------	-----------

6 月 21 日 第 2 回 医療倫理の基本
6 月 22 日 第 3 回 倫理理論と倫理原則
6 月 22 日 第 4 回 研究倫理・研究公正
6 月 22 日 第 5 回 臨床倫理と IC

○ M3 臨床統合講義（医学科 M3）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

10 月 25 日

○ M4 臨床統合講義（医学科 M4）

瀧本 禎之

9 月 5 日 （医療倫理学・老年病科）

○ 社会医学講義（医学科 M4）

瀧本 禎之，中澤 栄輔，宇田川 誠

9 月 14 日

9 月 15 日

（2）学部実習・演習

○ 公共健康科学演習Ⅱ（保健社会学教室と合同）

4 月 10 日

4 月 17 日

5 月 8 日

5 月 15 日

5 月 22 日

(3) 大学院講義

○ 医療倫理学 I

4 月 6 日	生命・医療倫理学とは 倫理学の基礎 1	瀧本 禎之 中澤 栄輔
4 月 13 日	倫理学の基礎 2 医療倫理の四原則	中澤 栄輔 中澤 栄輔
4 月 20 日	ケアの倫理	堂岡 俊彦 (静岡大学人文社会科学領域)
4 月 27 日	インフォームド・コンセント、終末期医療	前田 正一 (慶應義塾大学健康マネジメント研究科)
5 月 11 日	臨床倫理の倫理的検討法	瀧本 禎之
5 月 18 日	研究倫理	山本 圭一郎 (国立国際医療研究センター)
5 月 27 日	模擬倫理委員会	宇田川 誠

○ 医療倫理学 II

6 月 8 日	公衆衛生の倫理入門	児玉 聡 (京都大学大学院文学研究科)
6 月 15 日	公衆衛生・政治哲学	中澤 栄輔
6 月 22 日	資源配分	中澤 栄輔
6 月 29 日	親子間の世代間倫理	伊吹 友秀 (東京理科大学教養教育研究院)
7 月 6 日	倫理コンサルテーション I, II	瀧本 禎之
7 月 13 日	ジェンダーと生命倫理 研究者の倫理と不正	中澤 栄輔 中澤 栄輔
7 月 20 日	倫理コンサルテーション III, IV	瀧本 禎之

(4) 卒業論文

ヒト生殖細胞系列へのゲノム編集は胚の同一性を保証するか、そしてその同一性は生殖細胞系列への介入のあり方を変えるか

飯島 大地（指導教員：瀧本 禎之，中澤 栄輔）

(5) 課題研究

（該当なし）

(6) 博士論文

（該当なし）

(7) 他大学等の講義

瀧本 禎之

東邦大学医学部

『生命倫理学』

5月22日

1月9日

帝京大学 SPH

『公衆衛生倫理学』

4月19日

高知大学医学部

5月30日

中澤 栄輔

神田外語大学

『自然科学概論Ⅰ』

2023年度夏学期

『自然科学概論Ⅱ』

2023年度冬学期

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

『医療倫理学』

5月10日, 5月17日

東邦大学医学部医学科

『全人の医療人教育Ⅱ「倫理」』

4月28日

玉川大学大学院脳科学研究科

『研究者倫理』

8月9日

静岡社会医学大学院大学

『社会健康医学概論』

6月24日, 7月1日

宇田川 誠

東京医科歯科大学教養部

『主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）』

2023 年度通年

東邦大学看護学部看護学科

『人間論』

6 月 2 日, 9 日

『哲学』

2023 年度秋学期

森 克美

東京医療保健大学大学院医療保健学研究科

『大学院ゼミナール』

2023 年度通年

『研究方法特論Ⅲ』

7 月 1 日, 15 日, 22 日, 29 日

(8) 講演等

瀧本 禎之

山梨大学医学部附属病院 2023 年 8 月 9 日

『臨床倫理、倫理コンサルテーション』

広島大学病院 2023 年 9 月 8 日

『終末期医療における倫理問題』

平塚共済病院 2023 年 9 月 25 日

『臨床倫理の基礎および意思決定支援』

国立がん研究センター東病院 2023 年 9 月 29 日

『医療安全学：医療倫理』

金沢大学附属病院 2023 年 11 月 17 日

『医療安全研修：苦情対応の方法』

持田製薬株式会社 2023 年 12 月 19 日

『サイコオンコロジーと便秘』

東北大学病院 2024 年 1 月 19 日

『医療倫理：事前指示と ACP』

埼玉県立がんセンター 2024 年 2 月 8 日

『事前指示を考える』

高知大学 2024 年 2 月 21 日

『臨床倫理』講習会

中澤 栄輔

RIKEN CBS Summer Program 2023 2023 年 7 月 3 日

『Introduction to Neuroethics and its Contemporary Applications.』

2023 年応用脳科学アカデミーベーシックコース 3「ELSI」第 1 回 2023 年 7 月 12 日

『脳科学分野における ELSI』

自然科学研究機構生命倫理審査委員会「人を対象とする生命科学・医学系研究に係る倫理講演会」 2024 年 1 月 23 日

『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針と研究倫理の最近の話題』

4. 海外出張

(該当なし)

5. 学会における活動

瀧本 禎之

日本生命倫理学会 監事

日本サイコオンコロジー学会 理事

日本心身医学会 評議員

日本心療内科学会 代議員

日本摂食障害学会 評議員

中澤 栄輔

日本生命倫理学会 理事・事務局長

日本うつ病学会 ニューロモジュレーション委員会 委員

日本糖尿病学会 学術調査研究等倫理審査委員会 委員

宇田川 誠

日本生命倫理学会 国際交流委員会 委員

日本生命倫理学会 授業法研究部会 部会長

6. 社会的活動

中澤 栄輔

量子科学研究機構 研究倫理審査委員会 委員

国立精神・神経医療研究センター 臨床試験審査委員会 外部委員

千葉大学医学部生命倫理審査委員会 委員

国立国際医療研究センター倫理委員会 委員

信州大学医学部医倫理委員会 委員

慶應義塾研究倫理委員会研究倫理審査委員会 委員

虎の門病院利益相反委員会・臨床研究倫理審査委員会 委員

玉川大学動物実験審査委員会 委員

東京家政学院大学研究倫理審査委員会 委員

重粒子線治療多施設共同臨床研究組織（J-CROS）監査委員会 委員

上智大学研究不正調査委員会 委員

グラクソ・スミスクライン株式会社肺炎球菌ワクチンの開発アドバイザー

宇田川 誠

東京女子医科大学 倫理審査委員会 第一 委員

東京女子医科大学 倫理審査委員会 第二 委員

医療法人社団 活寿会 特定認定細胞治療等安全推進委員会 委員

令和5年度 東京大学大学院医学系研究科
医療倫理学分野 教室員

准教授	瀧本 禎之	客員研究員	新井 奈々 島内 明文
講師	中澤 栄輔		林 令奈
非常勤講師	伊吹 友秀 児玉 聡 高島 響子 高橋しづこ 立花 幸司 堂園 俊彦 長井 裕之 林 芳紀 藤田みさお 前田 正一 山本圭一郎	技術専門職員 学術支援職員 事務補佐員 大学院生（博士課程）	森 克美 阿部富美子 （～4月30日） 宮崎いずみ （5月1日～） 三羽恵梨子 （～9月30日） 稲生 宏泰 恩田 優子
特任助教	宇田川 誠	特別研究学生	勝碯 静香
特任研究員	栗林 寛幸 三羽恵梨子 （10月1日～） 和田 慈	卒論生	飯島 大地
